



ふくおか [Good] 農業人100  
 主な農産物 / 電照ギク

# 大塚 隆徳さん (35歳) (営農地 / 八女市新庄)

## 一度決めたことは、やり通す。気合と根性で乗り切った13年間

《就農のきっかけ》

### 母からの一本の電話

地元の農業高校を卒業後、県農業大学校を経て、大阪の花市場へ就職、2年間の社会経験ののち実家のキク農家へ就農。一見すると、キク農業エリートとも言える道を歩んできた大塚さん。しかし、できることなら農業以外、地元以外で働きたいと思っていたそうです。そんな大塚さんが、地元へ帰り就農することを決意したのは、22歳。当時、父親が地元生産部会長の任についており、母親から「一緒にやってほしい。」と連絡がありました。ちょうど花市場での仕事が面白くなってきたところで、迷ったけれど、農業はやるなら早い方が良いと思い決断。「一度決断したことは、やり通す」という大塚さんは、今ではキク一筋13年です。

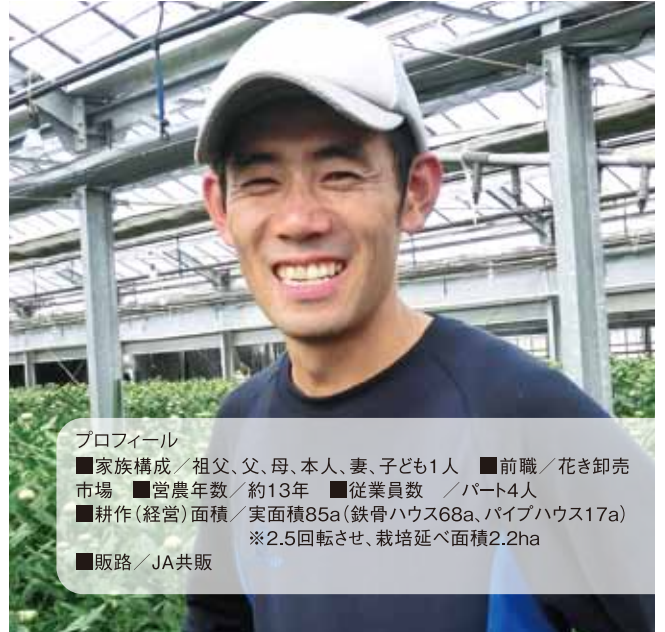
《これまでの過程》

### 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

子供の時から家の手伝いをしていて農作業には慣れていましたが、キクづくりはわからないことばかり。父親や、近くのキク農家のハウスに何度も出向き、教えてもらったそうです。「分からないことを恥づかしがって聞かないままではいることが、一生恥づかしいこと。」現在、生産部会の青年部長を務める大塚さんは、今の若手の生産者（10代、20代）にも、わからないことがあれば何でも聞いてほしいと伝えています。

就農当時は数多くの失敗を経験。「家族がやってくれているだろう」と思っていた自分の確認ミスが原因で、キクをすべてダメにしたこともある。今では、自分で確認、指示することを心がけている。経営も任せられた今は、全てが自己責任。大変だが面白い。」と語る大塚さんです。

自分のキク経営のことはもちろん、地元生産部会の若手キク生産者のことも考える立場になった大塚さんは、充実した毎日を送っています。



プロフィール

- 家族構成 / 祖父、父、母、本人、妻、子ども1人 ■前職 / 花き卸売市場
- 営農年数 / 約13年 ■従業員数 / パート4人
- 耕作(経営)面積 / 実面積85a(鉄骨ハウス68a、パイプハウス17a)  
 ※2.5回転させ、栽培延べ面積2.2ha
- 販路 / JA共販

《これからの展望》

### 目指すは、キク栽培のオートメーション化

大塚さんは、福岡県が育成した白ギク「雪姫」を栽培しています。従来品種と比べ、省力化はできましたが、まだ課題も残ります。「更なる品質向上を目指し、みんなで栽培技術の向上を図り、八女のキクの良さを多くの人に知ってもらいたい」と考えています。そして、「キクを葬儀以外の多くの場面で使ってもらえるような、親しみのある花にしていきたい」とも考えています。

父親から引き継いだ施設の規模拡大を続ける大塚さんは、「全てのハウスを高度施設化して、もっと効率的なキク経営をしたい。今は手作業の定植や収穫作業を機械化して、キク栽培をオートメーション化できれば、さらに良いですね。」と語ってくれました。



### Good 成功のためのポイント

今まで培ってきた人とのつながりを大事にし、失敗を活かしながら、経験を積んでいく。農業に必要なものは、気合と根性と少しの知識です!